

L2TP VPN の接続設定 学生版

L2TP VPN に接続するには、東北大学全学統合認証システムのサブ ID とサブ ID パスワードが必要です。

【リモートアクセスサービスと認証システムについて】

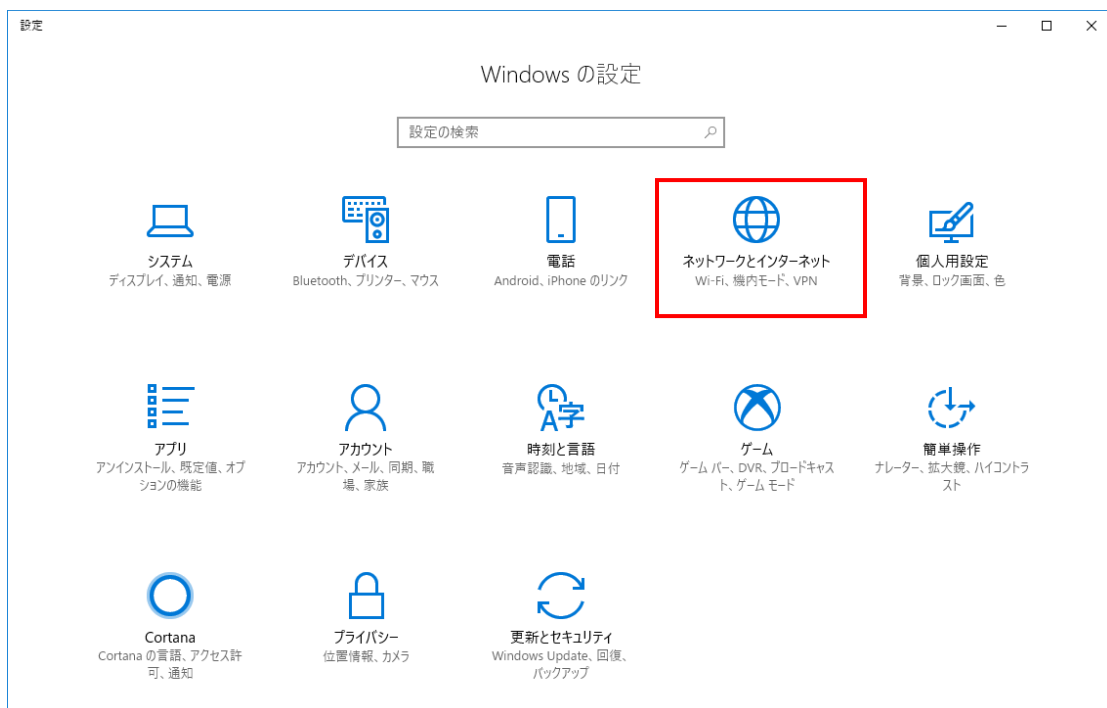
リモートアクセスサービス（以下「本サービス」）は東北大学全学統合電子認証システム（以下「認証システム」）のサブ ID とサブ ID パスワードをアカウントとして認証を行います。

本サービスを利用するには、あらかじめ認証システムにサブ ID とサブ ID パスワードを登録する必要があります。登録方法は、最後のページの「問い合わせ」をご覧ください。

また、サブ ID とサブ ID パスワードを登録してから本サービスが利用できるまで時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【L2TP VPN のセットアップ手順】

1. 画面左下にある Windows アイコンから「設定」をクリックし、設定画面の中の「ネットワークとインターネット」をクリックします。



2. ネットワークとインターネット画面の「VPN」をクリックし、「VPN 接続を追加する」をクリックします。



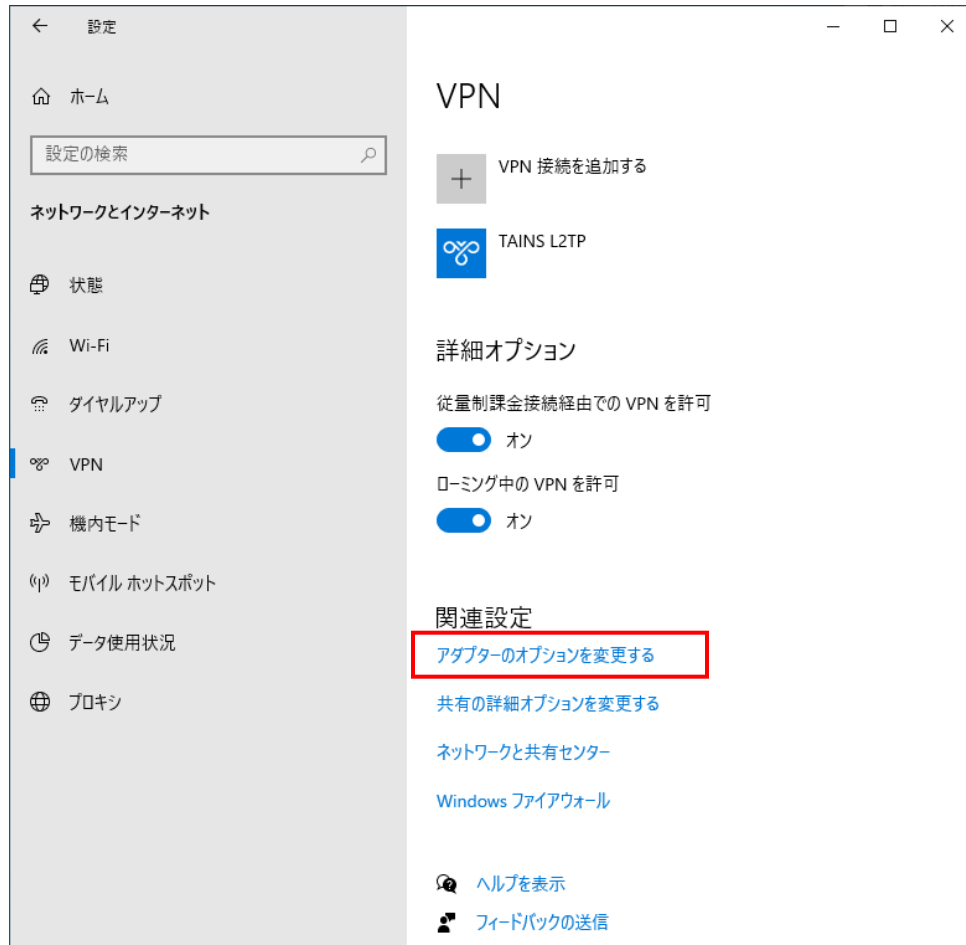
3. 設定入力画面の各項目に選択または入力し、「保存」をクリックします。

項目名	設定値
VPN プロバイダー	Windows (ビルドイン)
接続名	任意 (マニュアルでは TAINS L2TP)
サーバ名またはアドレス	tuvpn.tohoku.ac.jp
VPN の種類	事前共有キーを使った L2TP/IPsec
事前共有キー	vpnipsec
サインイン情報の種類	ユーザー名とパスワード
ユーザー名 (オプション)	サブ ID@student.tohoku.ac.jp
パスワード (オプション)	サブ ID パスワード

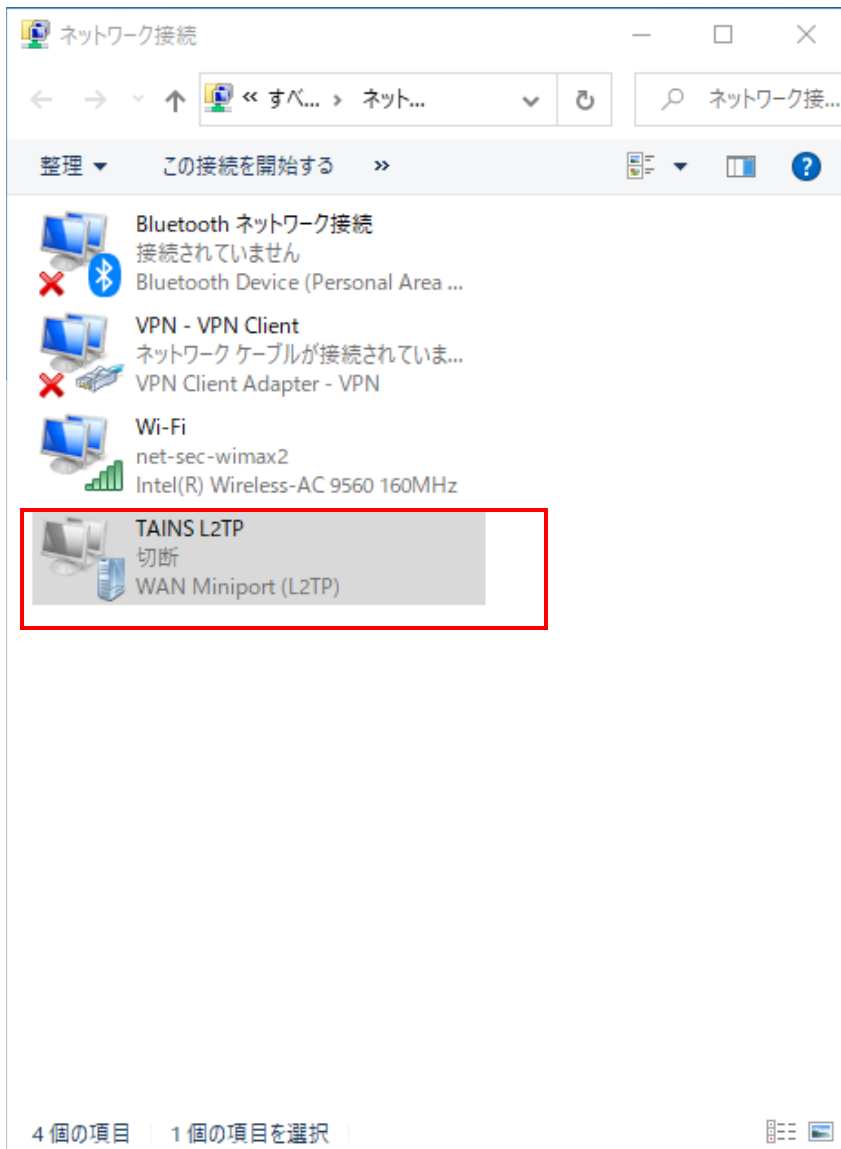
<注意> ユーザー名はサブ ID だけではエラーになります。「サブ ID@student.tohoku.ac.jp」と入力してください。

(例) tohoku@student.tohoku.ac.jp

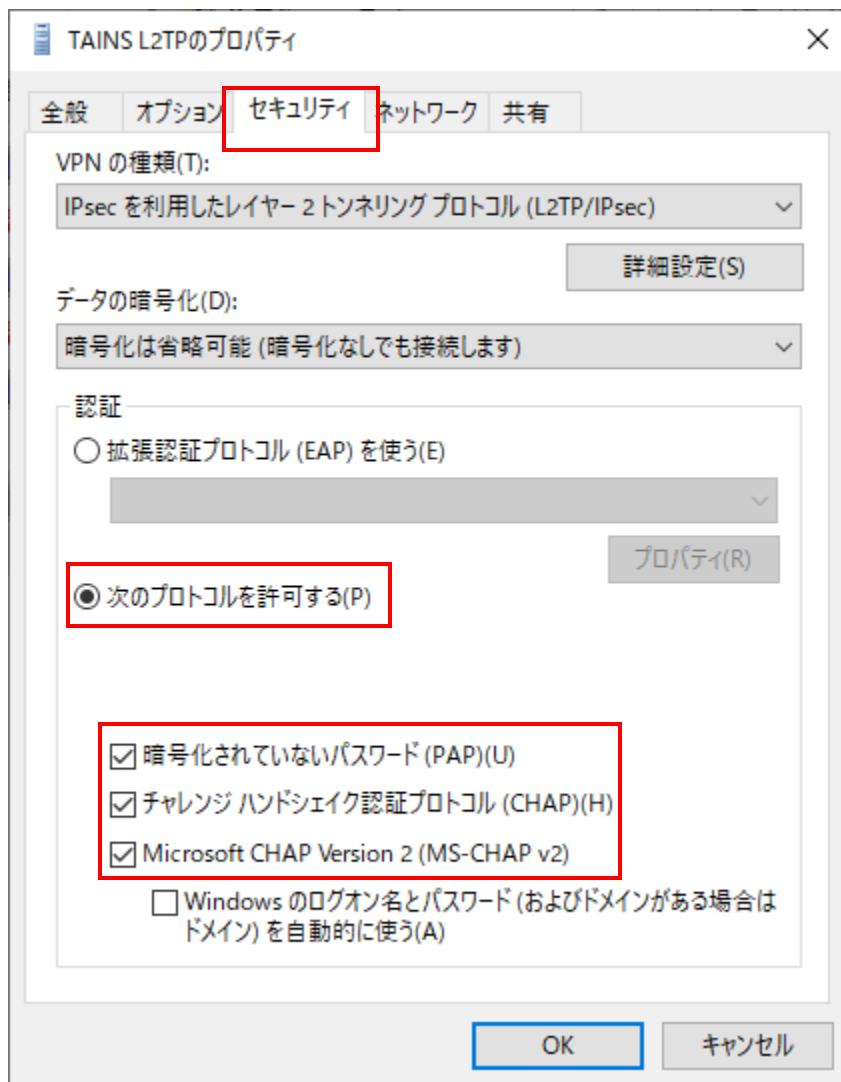
4. 「アダプターのオプションを変更する」をクリックします。



5. 「TAINS SSTP」をクリックを右クリックし、プロパティを選択します。



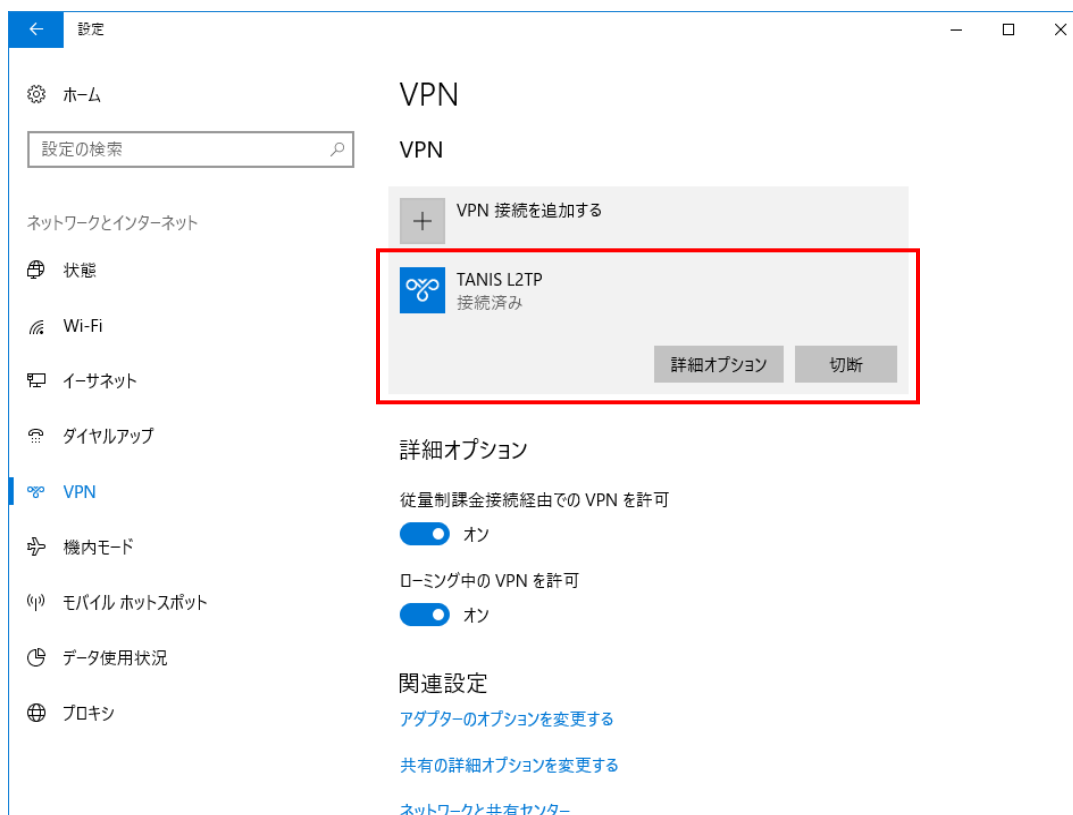
6. 「セキュリティ」タブを選択し、赤枠の部分を選択し「OK」をクリックします。



7. 「接続」をクリックします。



8. 接続先の状態が「接続済み」と表示されれば、接続手順終了となります。



【2回目以降の接続手順】

1. 接続手順の手順 1 実施し、ネットワークとインターネット画面から VPN 項目を表示します。
2. 接続先の項目から「接続」をクリックしますと接続可能となります。

【接続切断手順】

1. 接続している項目の「切断」をクリックし、「接続済み」の表示がなくなれば切断手順終了となります。



【本サービスの仕様：特徴】

- 学生が自宅から電子ジャーナルを参照することを目的としています。[「学認」で電子ジャーナルが利用できる場合](#)にはそちらをお使いください。
- 学内にあるサーバ、電子ジャーナル以外へのアクセスには利用しないでください（実際に利用可能なウェブサイトには制限をかけています）。
- L2TP/IPsec、PacketiX、OpenVPN の3つの接続方式に対応しています。
- 電子ジャーナルを利用する際には、そのポイントとなる本学の図書館のページ等を開いてから VPN 接続するようにしてください（前述の利用制限により、すべてのウェブサイトにアクセスできるわけではないため）。出版社等が VPN によるアクセスを許可していない場合がありますので、図書館のサイトに記載の要領を遵守してください。[図書館へのリンク](#)

【お問い合わせ】

本サービス及び認証システムについてのお問い合わせ先は以下のとおりです。

- リモートアクセスについて
情報シナジー機構情報基盤運用室ネットワークグループ（情報部情報基盤課ネットワーク係）
Mail:tains(at)tains.tohoku.ac.jp
※(at)を@に読み替えて下さい。
- 認証システムについて
情報シナジー機構情報基盤運用室共通基盤システムグループ（情報部情報推進課）
（東北大学統合電子認証システムの URL）
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/auth/>